



1号堰下に集まった稚アユと稚ボラ 5月15日



一掬いで獲れた稚ボラ



掬い取った稚アユ この日の平均的なサイズ



5月2日の2号堰 コサギがアユを啄んでいた。



5月24日の1号堰 稚アユをセキレイが啄んでいた



このような状況なら 10cm 程度のアユは登り切る

4月下旬の遡上最盛期の魚体は10cm前後でこれまで見た事がない位飛び跳ねていた。5月下旬になっても遡上するところが観察出来たが、日にちが経過したにも関わらず魚体は小さくなり遡上方法も飛び跳ねるから流れに逆らって泳いで登るようになった。右岸角に稚ボラに混ざって遡上していた。ボラは登らない。稚アユを狙うのは、コサギと鶉だろうと思っていたが、何故かセグロセキレイが堰に登り切った稚アユを啄んでいた。5月23日の住吉川では3号堰(ポトライフ魚崎駅付近)で稚アユが群れハミ跡も観察出来た。高橋勇夫著書に早生まれは大きく回遊し遅生まれは滞在型になりやすいとあり、住吉川でも同じ現象が起きていると思う。

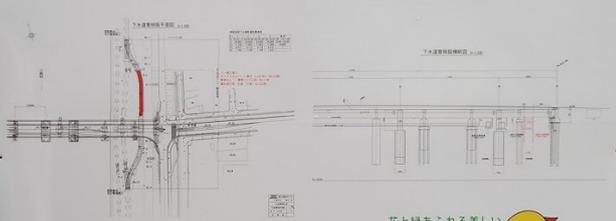
## (二) 武庫川水系武庫川 流域下水管移設工事(その1)

### 工事の目的

この工事は、南武橋架け替えに伴い支障となる流域下水管の移設を行うことを目的としています

### 下水道管移設平面図

### 下水道管移設横断面図



工事概要：ボックスカルバート掘付 L=37.8m  
工事施工場所：尼崎市元浜町



四角いコンクリート管理められる。

南武橋付近の下水管移設工事が始まる



水脈筋に配慮された工法採用。5号堰から下流を望む。



下水管敷設状況



阪神橋梁下の低水護岸復旧状況。5月15日



何故か河口部で浚渫工事が始まった模様。

18号台風被害復旧工事は終わり、これから改修工事が主になっていくものと思われる。

復旧工事現場をみていると、予算の関係もあろうかと思うが少し仕様が落とされたような印象を受ける。